

# 新徳京ロープウェイ

## 安全報告書 2010



奥飛観光開発株式会社

## 1. 利用者の皆様へ

平素は、新穂高ロープウェイをご利用いただき誠に有難うございます。

当社では、皆様に安心して北アルプスの大自然をご満喫いただけるよう、安全の確保を最優先に、法令順守を徹底し、全社一丸となって安全輸送に努めております。

平成 21 年度は、第 2 区線を中心にワイヤーケーブルの交換や機械設備類のオーバーホールなど、前年度に引き続き大規模修繕工事を実施いたしました。

また、安全マネジメント体制を推進するため、新たに安全管理委員会を設立すると共に、安全教育・訓練なども実施いたしました。

今後とも、安全の確保・輸送サービスの向上に積極的に取り組んでまいり所存です。

何卒、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法の規定に基づき、平成 21 年度の安全輸送確保の取り組みをまとめたもので、広く皆様にご理解いただくために作成いたしました。

ご意見ご感想を賜れば幸いです。

奥飛観光開発株式会社

代表取締役社長 高井三郎

## 2. 安全に関する基本的な方針

### (1) 行動規範

社長、役員及び社員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保を最優先に、お客様と地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指します。

#### 【行動規範】

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

## (2) 安全方針と重点施策

当社では、安全管理委員会において、安全方針・安全重点施策を策定し、輸送の安全確保に取り組んでおります。

### 【安全方針】

法令順守と安全最優先  
安全マネジメント体制の推進

### 【安全重点施策】

平成21年度の安全重点施策は、以下の3項目です。

#### 平成21年度安全重点施策

- 1 インシデント・ヒヤリハット情報の共有化
- 2 安全基本動作の徹底
- 3 指導・教育・訓練の実施

## (3) 安全重点施策の実施結果

### 1 インシデント・ヒヤリハット情報の共有化

上記を目的として、管理職中心の運行保安会議を年5回、運行保安課・整備課係員によるミーティングを年6回実施し、安全運行に対し役職員共通の認識、情報の共有化を図りました。引き続きこれらの情報を基に未然に事故防止を図り、安全運行を推進します。

### 2 安全基本動作の徹底

本部長以下管理職による各駅巡回時の監督・指導を積極的に実施しました。  
また、ミーティング時には取り組み姿勢の教育等をおこないました。  
引き続き係員の意識高揚を図り、安全基本動作を主とした資質維持向上を目指します。

### 3 指導・教育・訓練の実施

年3回の搬器非常停止対応（スローダン）訓練や運転係講習等定期的な訓練・教育の他に駅舎内火災時避難誘導訓練などおこないました。  
今後も安全マネジメントに関する教育、訓練を実施します。

#### (4) 平成 22 年度安全重点施策の策定

平成 21 年度安全重点施策の実施結果を踏まえ、さらなる安全確保体制向上を目指し、平成 22 年度安全重点施策を策定いたしました。

平成 21 年度同様、事故の未然防止を機軸とした施策を最重要課題と考え、事故の芽の段階で対策・予防策を講じ、事故防止につなげるよう取り組んでまいります。

#### 平成 22 年度安全重点施策

- 1 インシデント・ヒヤリハット情報の共有化
  - ・係員が安全を意識的に感じ、情報を提供する環境を作る。
  - ・情報収集を図り、原因・対策の検討を実施し運行保安課・整備課一丸で未然に事故防止を図る。
  - ・他社事事故事例の研究により経験しない事故を自社に当てはめ類似事故を未然に防ぐ。
- 2 安全基本動作及び相互注意の徹底
  - ・安全基本動作を厳正に実行することにより安全基本動作の習慣化をめざす。  
特に指差、喚呼、確認の一連動作を確立させる。
  - ・「危険を感じる行動」「基本動作の未実施」等を発見したら、即係員どうしでお互いに注意し合う。
- 3 指導・教育・訓練の実施
  - ・管理職による業務内巡視・指導を通じ、コミュニケーションを図り現場の実態把握に努める。
  - ・安全に関する教育を定期的実施し、希薄になりがちな安全意識を常に継続させる。
  - ・駅構内の弱点箇所を掲示することにより安全意識の高揚を図る。

### 3. 当社の安全管理体制

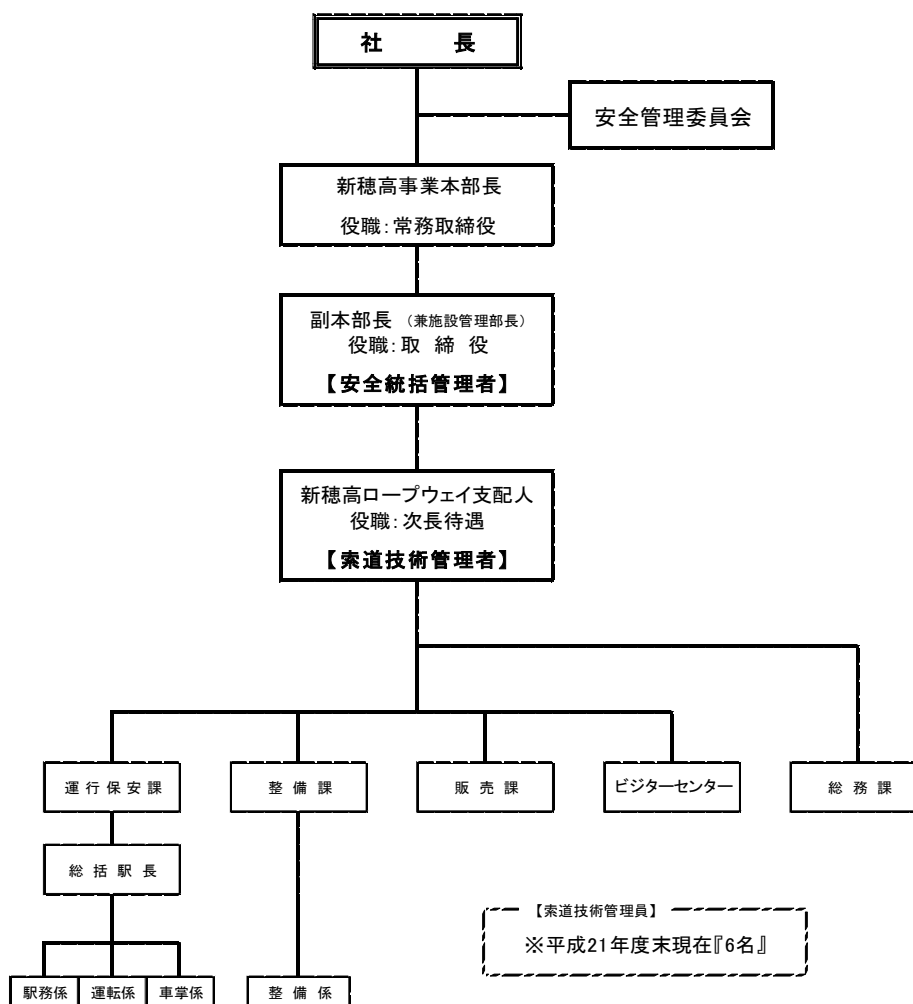
社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の役割及び権限は、社内規程によりその責務を明確にしています。

さらに平成 21 年 3 月には、より一層の運行安全確保に努めるため安全マネジメント体制の構築・維持・向上を図る施策を推進する組織として安全管理委員会を設立いたしました。

また運行に関わる係員で運行保安会議を開催し、ヒヤリハット等安全運行に係る事項の情報開示、原因究明・対策を検討しております。

## 新穂高ロープウェイ

# 安全管理体制図



## 4. 平成21年度 事故等の発生状況

### (1) 索道運転事故 (索道人身障害事故)

平成21年度、当該事故の発生はありませんでした。

### (2) 災害 (地震や暴風雨、豪雪など)

平成21年度、該当する災害はありませんでした。

※強風による運行休止は、第1区線では「約16時間」、第2区線では「約104.5時間」でした。

### (3) インシデント (事故の兆候)

平成21年度、該当するインシデント事項はありませんでした。

## 5. 輸送の安全確保のための取組み

### (1) 人材教育

6月と12月には運転係を主に運転講習をおこない、安全運行への再徹底を図りました。  
12月には全社員による、駅舎内における火災時避難誘導訓練を実施しました。

また、同月「AED取扱講習」を未受講社員を対象に実施しました。



AED 取扱講習



火災時避難誘導訓練

### (2) 緊急時対応訓練

ロープウェイ運行中の非常事態を想定し、年3回の救助訓練を行いました。

4月 … 第1区線

7月 … 第1区線、第2区線

12月 … 第1区線、第2区線（高山消防署立会い）



スローダン訓練の様子



### (3) 安全のための投資と支出

安全運行のために毎年3～4千万円の投資計画を策定しておりますが、平成21年度は、前年度から引き続き4月19日まで運休し、大規模メンテナンス工事を下記の通り実施いたしました。

なお、平成21年度における索道の機械・電気設備の保守に関する点検・工事並びに修理に約1億6千万円（第2期工事分含む）を投資しました。

#### 平成21年3月23日～4月19日 【第2期工事】

第1区線	主減速機オーバーホール
	各制動機 油圧ユニットオーバーホール
第2区線	緊張索交換
	曳索・平衡索交換
	支索誘導ローラー交換
	主電動機オーバーホール
	主減速機オーバーホール
	原動・遊動滑車 軸 及び 軸受交換
	常用・非常用各制動機オーバーホール
4号車搬器鋼体検査	



原動滑車軸交換作業



主減速機取り外し作業

## 6. ご連絡先

### 【本 社】

〒 506-0053

岐阜県高山市昭和町1丁目165-1

### 奥飛観光開発株式会社

TEL : 0577-33-0517

FAX : 0577-34-7101

ホームページ : <http://www.okuhi.jp/>

### 【事業所】

〒 506-1421

岐阜県高山市奥飛驒温泉郷

神坂字巾平710番地58

### 新穂高ロープウェイ

TEL : 0578-89-2252

FAX : 0578-89-2815

※ メールをご利用される方は、ホームページ内の「総合ご案内」よりお寄せ下さい。

平成22年(2010年)9月発行